

## 合格体験記

### MMC 講師の皆様

1年間誠に有難うございました。お蔭様で、無事、中小企業診断士2次試験に合格することができました。以下、小生の合格体験記を記載させていただきます。

受講生:59歳、男、2回目受験での合格。年齢的に頭が固くなっており、また、学生時代より読み書きが遅いのが弱点と認識しています。一方、大学は理科系でしたので、計算問題は比較的得意（但し計算スピードは遅め）であると認識しています。

受験勉強法総括: 基本的に MMC の答練と教材と模試の復習を繰り返し行いました。他の教材や他校の模試は一切勉強、受検していません。

### MMC 受講コース:

- ・本科（全模試を含む）
- ・GW 事例 IV コース
- ・直前事例 IV コース
- ・直前スパーリング

### 体験記:

- ① 私は、令和2年度の1次試験に合格しましたが、1次合格段階で2次試験の準備はおろか、調査もしていませんでした。そこで、1年目の2次試験は、ネット等で手に入る教材を使用し、独学でチャレンジしましたが、試験で問われている質問の意味（いわゆる題意）も理解できず、また何を答えるべきなのかも分からないまま受検し、当然のように不合格となりました。
- ② 1回目受検の経験から、2次試験の合格の鍵は事例4を除き、題意の把握と、それに対しどのように回答すべきかのコツの習得にあると思います、予備校に通いそのコツを掴む事が肝要であると考えました。そこで令和2年末にネットで検索して、数校の予備校の説明会に申込みをしました。申込みをした説明会の中で、最初に参加した説明会が MMC でしたので、説明を聞き何となく良さそうだったのと、他校の説明会に行くのが面倒だったので、即座に MMC に受講申し込みをしました。結果的には、あの時 MMC にしておいたのが大正解でした。
- ③ 事例 I~III 勉強法:  
小生は、本試験の2か月位前までは、答練と模擬試験の復習のみ行い、キーワードが体に染み込むようにして、また、設問のパターン（題意）と、その場合の回答方法のパタ

ーンを覚え込みました。また、通勤時間等の時間を使い、授業の動画を見る（聞く）ようにしました。動画から各講師の勉強法や答案作成法などを知ることができ、自分に向いている方法を真似するようにしました。これにより、受講開始当初は 50 点台、下手すると 40 点台であった答練・模試が、最後の方には 60 点前後取れるようになりました。

2 か月位前からは過去問と MMC の回答例を確認し、問題のパターンと、そのパターンに対応した答案の確認を行い、問題パターン別の回答方法及びその際のキーワードの確認と体への定着を行いました。

#### ④ 事例 IV 勉強法:

経営分析（安全性、収益性、活動性）、CF、CVP や営業レバレッジ等の文章回答の問題は、MMC の答練等の MMC 教材より、問題パターン毎の回答方法を覚え、自分なりに設問パターンに対する回答方法（キーワードを含む）を繰り返し復習して身に付けるようにしました。これで経営分析は確実に合格点以上を取れるという自信をつけることができました。

それ以外は、MMC の教材（問題集、答練、模試、GW 講座の際の問題集）を繰り返し解き、問題のパターンとパターン毎の回答方法を体で覚えるようにしました。高校時代の数学の勉強法の感覚です。

また、勉強の際には、実際の試験の際には罫線のない白紙で計算をしなければならないので、自宅学習の際にも、実際の試験用紙サイズより少し小さめの白紙を 100 円ショップで買って、白紙に自分で定規等を使い、本番形式で問題を解くようにして、白紙上での計算に慣れるようにしました。

振り返り：

#### ① 答練参加メリット:

年齢的に頭が固くなっており、読書スピードも筆記スピードも遅い小生には、パターン化して回答する MMC メソッドは合っていました。また、何回も何回も、実際の試験と同じような形式で答練や模試を繰り返したことで（小生は答練には基本的にウェブではなく教室参加しておりました）、80 分の試験の時間配分や、指定字数に合せた答案作成能力が自然と身に付いたので、MMC の答練に参加して良かったです。また、何度も答案を書くなかで、自分が犯すチョンボと、その対策をある程度講じることができたのも良かったです。

#### ② キーワード:

小生は MMC のキーワードのうち自分にじっくりくるワードを覚えて使っていました。MMC の講師が言われるように、MMC キーワード以上のワードは使わず合格することができました。

#### ③ 事例 IV での解答順の重要性:

中居講師から事例 IV は問題を解く順番が大切と口酸っぱく言われていたにもかかわらず、本番では「解ける」と思い第 1 問の次に、本来は最後に回すべき第 2 問に手を付けてしまい、問題文が長いこともあり時間がかかってしまい、途中からあせりだしてしまって、第 2 問を完答できないばかりか、完答すべき第 3 問も設問 2 の途中で時間切れとなりました。今回運良く合格できましたが、不合格であったら事例 IV の解く順番ミスを後悔していたと思います（実際、1 月 14 日の筆記の発表までは不合格だっただろうと思っていました）。

事例 IV は不得手感が無くても、やはり点数の取れる問題から解き確実に合格点を確保することが重要だと思いました（今年の問題であれば、第 1 問→第 4 問→第 3 問→第 2 問の順に解くべきであったと反省していました。来年再受験すると思っていましたので、経営分析の第 1 問を解いた後に、少し時間を取られても第 2 問から第 4 問まで問題を見て、解く順番を決めるべきであったと自分で肝に銘じていたところです）。

④ 字消し板：

他にも使われている方を少し見かけましたが、小生は答案作成では消しゴムを使う作業が多く、消したい箇所だけを効率良く消したかったので、大学時代の製図の実習を思い出し（今は手書きで製図などしていませんが）、「字消し板」を調達し、答練・模試・本試験で使用し、効率よく字消しを行っていました。消しゴムを多用される方には「字消し板」も有効だと思います。

もし今後受検される方が読まれることがあれば、小生のつたない経験が一部でも何かのご参考になれば幸いです。合格を祈念いたします。また、徳川講師を始めとする講師の皆様、誠にありがとうございました。小生が中小企業診断士となれた暁には、是非先輩診断士としてご指導頂ければと存じます。ご指導・ご鞭撻の程、引続き宜しくお願い申し上げます。

以上